



録画配信はこちら

# 沈黙を破り今、庁舎集約に動いた理由は

**Q** 機が熟した、環境が整ったと判断した理由は

**A** 議会の体制も新しくなり、速やかに取り組む案件だ

**問** この1年5カ月の間、庁舎等の統合の話はなぜ沈黙状態だったのか。またこの間、もっと議論しなかったのか

**答** 昨年の4月の臨時会で関連補正予算の提出を見送られ、5月に「庁舎等公共施設の最適配置への取り組みを一時中断せざるを得ない状況にある。機が熟した暁には、改めて近づいてまいりたい」とのメッセージを全戸配布し、あれから1年3カ月、今回、住民説明会を開き、再び計画を進めようとしていく。「このように機が熟したのか」尋ねる。

**問** 昨年の自治会ミーティング（愛知川区）に参加したが、庁舎等公共施設の最適配置の話はなかった。あのよう自治会ミーティングで住民とのコンセンサスはとれない。本場の住民の声、町長に届いているのか。また、

**答** 今年から新たな議会体制のもとで進めて行きたい。昨年以降も諸団体との意見交換や自治会ミーティングなどで、多くの方々と話をした。



録画配信はこちら

# 子育て世帯への経済的負担軽減について

**Q** 緊急的かつ時限的な給食費の無償化の考えは

**A** 国の財源が確保された場合、子育て世帯への支援を検討する

**問** 緊急的かつ時限的な給食費の無償化について

**答** 令和4年6月定例会において、私は物価の高騰により給食の原材料高騰を受け、その物価高騰分が保護者負担に転嫁することがあってはならないとの懸念から質問した。園児、児童、生徒の心身の健全な発達に影響があってはならないとの認識のもと、材料費の高騰分が保護者負担にならないよう、給食の提供に努めると答弁があった。また、高騰する食料については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用することで給食費を据え置き、子育て世帯に対し支援を実施する補正予算を提案され、議会としても可決したところである。

**問** しかし、燃料、原材料の高騰に加え、長引く新型コロナウイルスによる影響で、個人消費の低迷により中小企業の業績が悪化し、非正規労働者などが仕事を削減されることもある。また、子供の新型コロナウイルス感染により看病のため仕事を休まなければならなくなり、看病により自

身も感染し、より仕事を休む日数が長くなってしまいう状況もある。収入が減少し、ただでさえ家計が苦しいところに収入の減少、さらに光熱費や食料品等々あらゆるものが値上げされるなど、生活の困窮に追い打ちをかける状況になっている。こうした過程において、給食費負担の割合は決して少ないものではない。

**答** このような状況を鑑み、今こそ子育て世帯に対し、経済的負担軽減のための支援を実施すべきではないか。その支援策として、緊急かつ時限的な給食費の無償化を早急に実施すべきではないかと考えるが、町の方針を尋ねる。

**問** 緊急的かつ時限的な給食費の無償化については、町予算



おいしく提供されている給食

**問** 学校給食のあり方について

**答** 今後も物価高騰は、厳しくなる見通しである。国の財源については、不透明であり、今年度後半の学校給食のあり方をどう考えているか。

**問** 今後のさらなる物価高騰が

町長の言われる、機が熟したとはどのような状態なのか。機が熟したためにどんな努力をされたのか。

**答** 意見に対して、特にと云うことはない。この取り組みを早くしっかりと進めようとの気持ちは同じなので、引き続き力を賜りたい。

**問** 私としてはこの1年数か月間何もしないで「座して熟した？」思いである。総務省からもPDCAサイクルにより、進めるものと指針されているが、しっかりとできていくのか。

**答** 昨年、公共施設等総合管理計画の見直しを行ったが、各所管課ともヒヤリングをして計画に反映している。

**問** PDCAサイクルに対してはなかなか難しいが、計画を推進するエネルギーを引き続きお願したい。

**答** 総務大臣通知、総合管理計画、個別施設計画、最適配置案の関連。総合計画、ランドデザイン2040、都市計画マスタープラン、立地適正化計画の関連を分かり

での実施は財政的に厳しく、困難であることから、現段階において無償化は考えていない。

**問** しかし、今後、国の交付金等の動向を注視し、有効的に財源が確保される場合においては、緊急的かつ時限的な範囲においての子育て世帯への支援を検討したい。

**答** 今後のさらなる物価高騰が

やすくなる。

**問** 公共施設最適配置推進室長の第2次愛荘町総合計画は町の最上位計画で、10年後に目指す町のあるべき姿と進むべき方向。ランドデザイン2040は今後20年にわたる長期的な将来ビジョンや方向性を視覚的に示した構想。都市計画マスタープランは土地利用のあり方を示し、立地適正化計画は、暮らしやすいコンパクトな町を実現するための方針を定めたものである。



官舎跡地が駐車場？

**問** 町が進めている計画書の数は。全て国の補助金対象の計画書か。

**答** 概ね46計画書あり、全てが補助金に絡んでいるものではない。法律で定めて作成するものもある。

**問** これだけ多くの計画書の内容を全職員が把握しているのか心配になる。また、計画書を作成することが最終目的でない、計画の達成こそが肝要。しっかりと願

あったとしても、決して保護者に給食費負担の増額を求めることがないように、なんらかの施策を講じる必要があると考えている。

**問** また、子供の目線で考えると、長きにわたるコロナ禍において、子供たちにとって楽しいはずの給食の時間が、パーテーションに囲まれ黙食をするという状況のなか、必ずしも以前ほどの楽しさや喜びを感じられていないのではないかと危惧をしているところである。

**答** この先、給食の時間が子供たちにとって、心の栄養をもたらす時間となるよう、現場とともに知恵を絞って考えていきたい。



したい。

**問** 真摯に受け止め対応する。今回の住民説明会は4会場で計44名の住民が参加されたがどのように考えるか。

**答** 広報、ホームページ、防災無線で周知したが、会場に足を運ぶまではいただけなかったのは、今日の世相なのかと感じる。

**問** 今回、役場横にある、旧警察官舎を取得するが、その場所を駐車場にするのが町の方針である。この庁舎周辺は愛知川栗田線や東部開発線と隣接し、各計画書コンパクトシティと照らし合わせ考えてほしい。また、周辺には町の施設のみならず、県立高校や大型商業施設など町の将来像を具体化する施設も多数あり、今後、一体的かつ有効的な土地利用を進めるために、産学官民と連携して新しい都市空間を創造していただきたいと申し伝える。

・PDCAサイクルとは、(P)計画→(D)実行→(C)評価→(A)改善のプロセスを繰り返すことで、品質を高める。ゴールに近づける。